

## 第 144 回 関西実験動物研究会プログラム

令和元年 11 月 29 日（金）10:00～17:00

聖護院御殿荘

〈はじめに〉 近藤 玄 （関西実験動物研究会）

〈会員の研究発表〉

10:10～10:50

座長：中村紳一郎（滋賀医科大学 動物生命科学研究センター）

1. 神経精神疾患モデルマウスにおける尿中代謝産物・揮発性有機化合物のプロファイル  
○藤田明子，太田 真菜美，奥野貴也，織田美伽，加藤啓子  
（京都産業大学大学院 生命科学研究科）
2. 癌型 K-Ras 肺発癌 modifier 候補遺伝子の解析  
○齋藤浩充、鈴木昇  
（三重大学 地域イノベーション推進機構 先端科学研究支援センター・動物機能ゲノミクス部門）

10:50～11:30

座長：喜多正和（京都府立医科大学 大学院医学研究科 実験動物センター）

3. 国内の実験用ラットコロニーにおけるラットポリオーマウイルス 2 の汚染状況調査  
○田中美有<sup>1,2</sup>、桑村 充<sup>2</sup>、庫本高志<sup>1,3</sup>  
（<sup>1</sup>京都大学・医・動物実験施設、<sup>2</sup>大阪府立大学・獣医病理、<sup>3</sup>東京 農業大学・動物栄養学）
4. マウス病原菌 5 菌種基準株のゲノム完全長塩基配列決定と原虫遺伝子解析  
○池 郁生<sup>1</sup>、豊田 敦<sup>2</sup>  
（理研 BRC<sup>1</sup>、遺伝研<sup>2</sup>）

11:30～13:00 昼食

13:00～14:00

座長：浅野雅秀（京都大学 大学院医学研究科 附属動物実験施設）

5. Phf24 蛋白質の DNA 相互作用を探る

○芹川忠夫<sup>1, 2</sup>、清水佐紀<sup>2</sup>、國澤直史<sup>2</sup>、大野行弘<sup>2</sup>、吉見一人<sup>3, 4</sup>、  
真下知士<sup>3, 4</sup>、笹 征史<sup>1, 5</sup>

（<sup>1</sup>京都疾患モデル研究所、<sup>2</sup>大阪薬科大学、<sup>3</sup>大阪大学、<sup>4</sup>東京大学医科学研究所、<sup>5</sup>渚クリニック）

6. 遺伝性ミエリン変性モデル VF ラットの原因遺伝子 *Dopey1* の機能解析

○森田千晶<sup>1</sup>、田中美有<sup>1, 2</sup>、井澤武史<sup>1</sup>、山手丈至<sup>1</sup>、桑村 充<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>大阪府立大学 獣医病理学教室、<sup>2</sup>大阪府立大学 獣医臨床センター）

7. サイクリック AMP 依存性プロテインキナーゼ A の I 型ベータ制御サブユニット (*Prkar1b*) 遺伝子の欠損はラットにおいて振戦を引き起こす

○ホアン・ヒエウ<sup>1</sup>、金子武人<sup>2</sup>、庫本高志<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東京農業大学・農・動物科学・動物栄養、<sup>2</sup>岩手大学・総合科学研究科）

14:00～14:10 休憩

〈トピックス〉

14:10～14:50

座長：中井伸子

最長寿命齧歯類ハダカデバネズミがもつ老化耐性・がん化耐性・社会性の制御機構の探求

三浦恭子（熊本大学大学院先端機構/大学院生命科学研究部 老化・健康長寿学講座）

14 : 50～15 : 00

芹川忠夫（京都疾患モデル研究所）

真下知士先生、横井伯英先生のご紹介

〈特別講演-1〉

15:00～16:00

座長：芹川忠夫（京都疾患モデル研究所）

新規ゲノム編集ツール、遺伝子改変ラット、ヒト化動物の未来

真下知士（東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、システム疾患モデル研究センターゲノム編集研究分野）

〈特別講演-2〉

16:00～17:00

座長：近藤 玄（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 統合生体プロセス）

糖尿病の遺伝素因の解明

－動物モデルを用いたアプローチ－

横井伯英（神戸大学大学院医学研究科 分子代謝医学部門／

現）京都大学大学院農学研究科 動物遺伝育種学分野）